

# Colophon

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kcua.repo.nii.ac.jp/records/315">https://kcua.repo.nii.ac.jp/records/315</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 編集後記

今年度の『ハルモニア』が完成したのでお届けします。50号という節目を迎えることができたのも、これまで『ハルモニア』に携わって来た全ての方々のおかげです。ここに改めて御礼申し上げます。

今年度は、論文が1本、研究ノートが1本、報告が2本という構成です。教職課程の山村麻子特任講師による論文は、「助け合い」の意識の持ちようという点から音楽家の個人特性を探る試みで、よく言われる「音楽家特有の気質」にこれまでとは違った角度から光を当てています。非常勤講師の谷本裕先生からは、北部ドイツで毎年開催されているシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭の根底にある「多様性」の理念に着目した研究ノートをご投稿いただきました。報告は、いずれも作曲専攻の専任教員によるものです。岡田加津子教授からは、ここ数年取り組まれているバシェの音響彫刻に関して、フランス滞在を通じて得た知見を盛り込んだ実感あふれる報告をご投稿いただきました。また、中村典子准教授からも、ご自身を中心となって展開されている東アジア圏での精力的な活動についての詳細な報告をいただきました。ところで、本当はもう1本論文の投稿が予定されていたのですが、行き違いがあったため掲載が叶わなくなってしまいました。投稿を予定されていた方には、この場を借りて深くお詫びいたします。

今年度も、演奏曲目データの取りまとめに際して、各専攻の図書・紀要委員の先生方にご協力いただきました。また、教務学生課の板橋浩之さんにも大変お世話になりました。心より感謝いたします。

これまで、『ハルモニア』では「論文」、「研究ノート」、「報告」、「作品紹介・分析」、「書評」、「研究動向」の原稿を募集していましたが、来年度からは新たに「翻訳」も加わる予定です。本学教員と博士課程のみなさまには、これまで以上に積極的な投稿をお願いいたします。

新型コロナウイルスの拡大と、それに伴う集団ヒステリーが一刻も早く収まることを願いつつ。

2020年2月28日 池上 健一郎

*HARMONIA*

50

### ハルモニア50号 京都市立芸術大学 音楽学部2019年度研究紀要

発行者 京都市立芸術大学音楽学部  
(音楽学部長 砂原 悟)  
(大学院音楽研究科長 山田 陽一)

編集者 阿部 裕之・中村 典子・向山佳絵子  
山本 毅・上野 洋子・池上健一郎

発行日 2020年 3月23日

発行所 京都市立芸術大学音楽学部  
〒610-1197  
京都市西京区大枝沓掛町13-6  
TEL 075-334-2222

印刷所 株式会社 田中プリント  
京都市下京区松原通麩屋町東入  
TEL 075-343-0006

表紙デザイン 中井貞次  
ISSN 0914-2541

